

平成 30 年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル カリキュラム

【教育目的】

保健・医療・福祉施設等の看護管理に必要な基本的知識・技術を習得し、管理的態度を養うとともに、ヘルスケアサービスを提供するための組織化並びにその運営の一端を担う人材を育成する。

【教育目標】

- 1 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
- 2 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。
- 3 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。

【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論 (必修)	14	ヒューマンサービスの理念 人間関係論(看護師としての原点を見つめなおす) 家族の機能と役割	1. 看護管理者および看護実践者に求められる「対人関係能力」を高めるために、体験学習を通して人との関わりの中で起きていることを確かめる。 2. 家族のケア能力等を学び、家族に対する支援方法、かかわり方を学ぶ。
専門	看護管理概論 (必修)	20	看護管理の概要・看護管理の基礎知識 看護管理者の役割と活動 労務管理の基礎知識	1. 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。 2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。
	看護専門職論 (必修)	40	看護専門職の役割と機能 看護実践における倫理 看護の社会的責務と法的根拠	1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。 2. 看護職の自律性と責務を理解する。 3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。
	ヘルスケアシステム論 (必修)	20	我が国におけるヘルスケアシステムの構造 保健医療福祉の動向	1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。 2. 保健医療福祉制度の変化が看護に与える影響を理解する。
	看護サービス提供論 (必修)	40	看護サービスの概要 問題解決 看護サービスの質管理	1. 看護サービスの基本的概念を理解する。 2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した、看護サービスの提供過程を理解する。 3. 安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。 4. 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専 門	グループマネジメント (必修)	40	グループマネジメントの基礎理論 看護チームのマネジメント チーム医療と連携	1. 組織集団の基本概念、集団の力学的諸機能を理解する。 2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方を学ぶ。 3. 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるように諸理論の活用を考察する。
	人材育成論 (必修)	20	人材育成の基礎知識 人材育成の方法	1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。 2. 現場（看護単位）における後輩育成や指導方法を理解する。
	看護情報論 (必修)	20	医療・看護情報の概要 看護情報の倫理的側面と対応 看護実践に活かす情報管理	1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取扱いを学ぶ。 2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報のあり方を学ぶ。
	看護理論 (選択)	16	看護理論の理解と実践での活用	看護実践を看護理論に照らし、再構築する。
	看護研究の基礎 (選択)	16	看護研究の基礎 文献検索 クリニカルクエスチョンから リサーチクエスチョンへ 効果的なプレゼンテーション	理論に基づいた研究を実践できる能力を養うため、研究実践の前提となる知識を身につける。
設定時間 合計 246 (必修 : 214 / 選択 : 32)				

※ H31年度から日本看護協会認定看護管理者カリキュラム基準の改正により、新たな教育がスタートします。

また、受講要件が変更になっていますので、各自、日本看護協会のホームページをご確認ください。